



広範囲にわたって崩落した斜面

## 自然災害の恐ろしさ

### 大久保地区で大規模地すべり発生

10月8日未明、大久保地区で幅・長さ約200㍍にわたる大規模地すべりが発生しました。

近くの奈良尾観測所では、同5日未明から7日深夜にかけて374ミリの累計雨量を観測。大雨で地盤が緩み、約100万立方㍍の土砂が、登山道や農機具小屋、キャンプ場の炊事棟などを巻き込みながら流出しました。流出土の先端は、ふもとにある民家の北約500㍍まで達していました。

市では、8日朝に現地対策本部を設置し、2次崩落をセンサーで感知して大久保地区に伝える装置を現場に設置。今後、国や兵庫県など関係機関と協議を進めながら全力を挙げて復旧に取り組みます。

## 式典で早期完成を誓う

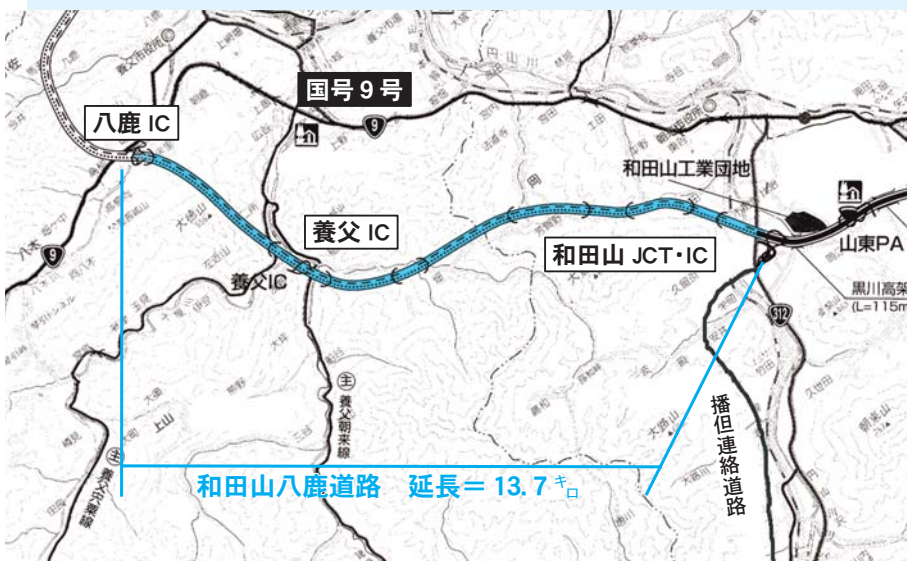
### 北近畿豊岡自動車道「和田山八鹿道路」起工

豊岡市と丹波市を結ぶ北近畿豊岡自動車道の和田山八鹿道路（養父市八鹿町－朝来市和田山町）の起工式が9月24日、浅野の養父インターチェンジ建設予定地で行われ、国土交通省や兵庫県、養父・朝来両市の関係者ら約150人が出席しました。

7月に開通した氷上－和田山間に続く本格的な着工で、国土交通省は今後5年間での供用開始を目指としています。和田山八鹿道路は、暫定2車線で延長13.7㍍。全区間の約6割がトンネル部分で総事業費は約620億円です。完成後は和田山インターチェンジとつながり、神戸や大阪までの所要時間が短縮するとともに、八手高原をはじめとする観光地への入込者数の増加、物流の迅速化による地域活性化などが期待されます。



和田山八鹿道路の起工式で、くわ入れする関係者



式典は、建屋小学校児童による息の合った太鼓演奏で始まり、国土交通省近畿地方整備局の藤本貴也局長が「近畿圏の効率的な道路ネットワークを構築するために重要な道路。国道9号の渋滞緩和や観光地へのアクセス向上など、地域の発展に寄与すると確信している」と式辞を述べました。

その後、梅谷市長をはじめ関係者12人がくわ入れを行い、工事の早期完成と安全を祈願しました。